

生きる力にアクセス

2021年度 活動報告書

一人ではどうにもできない貧困、
だから一緒に変えていく。

We walk together toward
the world without poverty.





フィリピンで、貧困の中で生きるということ

“ 一人息子を育てていて一番辛い瞬間はね、
お腹をすかせて泣く息子に、ゴミ捨て場から拾ってきた残飯を食べさせるしかない時。
病気になるリスクを知らながら、それ以外に何も用意してあげられない時。

都市スラムに暮らす女性アンジーの言葉です。

大切な人を守るどころか、危険にさらさざるをえない悔しさ。
ふがいなさ、無力感、怒り、絶望、自責。
胸が詰まるような想いに押しつぶされそうになりながら、
人々は貧困と闘い、日々を生きています。

「泣いてたって問題はなくならないでしょ。
だったら、ジョークの1つでも言って笑ってた方がいいよね。」

アンジーと同じスラムに暮らす女性たちは、そう言って笑いました。

笑顔という鎧で心を守りながら生きる人びととともに。
私たちは、貧困の痛みを軽減させる活動を、34年間、続けています。



子どもに教育を
受けさせたい。
できれば自分で稼いで
家族を養いたい。

34年の活動の中で出会った、数百人のお母さん・お父さん
たちの共通の願いは、「子どもに十分な教育を受けさせる
こと」でした。「仕事がほしい、自分で稼いで子どもに教育
を受けさせたい」と話す人にもたくさん出会ってきました。

仕事があれば、その収入で三食食べられ、
子どもを学校に行かせられる。
病気やけがをしても、病院に行ける。
そうした子どもや自分の願いを自ら叶えることができ、
「援助されることへの申し訳なさ」を感じる必要もない。

そんな願いに応えるべく、私たちはずっと
「子どもに教育、女性に仕事」を届けることを
活動の中心に据えています。

「力をつける」 アクセスの3つの活動



1. 子どもに教育を

6人に1人が小学校さえ卒業できないフィリピン。アクセスは、
都市スラムと農漁村で、小中高校を卒業するための教育支援
プログラムを実施しています。

2. 女性に仕事を

フィリピンの貧困層の大半は農漁村に暮らすと言われ、
仕事を求めて都市部へと移り住む人々が後を絶ちません。
住み慣れた地元で家族と一緒に暮らしたいと願う女性や若者を
対象に、フェアトレードでの仕事を創出しています。

3. 日本の若者に成長の場を

どうして貧困は生まれてしまうのか？
貧困の原因を探りながら、解決のために行動する人を増やすことも
大切です。スタディツアーやインターンシップ、講演、イベント
などを通して、日本の若者のアクションを後押ししています。



フィリピン共和国

広さ： 日本から北海道をのぞいたくらい
人口： 1億903万人 世界12位
言語： 80以上
公用語： フィリピン語、英語
宗教： 90%以上がキリスト教徒
GDP成長率： 5.6% (2021年度)

成長するフィリピン経済と、広がる格差

この20年でフィリピンの都市部の暮らしは大きく変化しました。年6%前
後の経済成長が続き、ショッピングモールや新車が増え、スマホを片手に
スターバックスを楽しめる中流層が増えました。その一方で、貧富の格差
は拡大を続けています。物価上昇とコロナ禍の影響で最貧層24%の暮らし
は改善するどころか悪化しており、2020年度は「進級を諦める子どもが400
万人増えた」という報道があったほどでした。

京都生まれのアクセス、 どうしてフィリピンで活動するようになっ

アクセスが活動を始めたのは1988年。京都のお菓子メーカーの社会貢献
活動の一環として始まり、当初の活動は、日本に暮らす外国人の方々へ
のサポート活動が中心でした。創設者の一人がフィリピン人だったこと
もあり、90年代に入ってからフィリピンでも活動するようになりました。

生きる力・変える力を伸ばす

私たちがいつも大切にしているのは、「アクセスが、モノ・カネを提供するだけの存在になってしまわないこと」です。貧困や権利侵害に苦しむ子ども・若者・女性たちが、自らの力でしんどさから抜け出せるように。苦しむ人を減らしたいという私たちの願いが、貧困を生み出す構造を変える力となっていけるように。一人ひとりの中にある、「生きる力・変える力」を引き出すことを、何より大切にしています。



アクセスの 3つの活動

1 子どもに教育を



290人に
学びのチャンスと生きる力を

▼就学サポート

貧困家庭の子どもたちに、制服・靴・カバン・文房具などを現物支給。学校に収める諸費の一部も提供し、経済的理由での中退を防いでいます。

▼子どもの権利を知り、生きる力を伸ばす

体罰・いじめ・児童労働・育児放棄などは、子どもの権利侵害。子ども自身に権利を知ってもらうとともに、つらい・苦しいを言葉で表現できるようになるための訓練をしています。子どもたちの保護者を対象に、子どもの権利を尊重した子育ての仕方を学ぶセミナーも継続的に開催。地域の大人が協力し、子どもたちが安心して成長できる環境づくりに取り組めるようサポートしています。

▼詳細はP5-6に

2 女性に仕事を フェアトレード



お米**50kg**相当の収入アップに

▼仕事のチャンスと稼ぐ力

「働きたいけど仕事がない」と、もどかしい思いをしていた農村の女性や若者たちは、フェアトレード事業に参加することで、手作り雑貨を生産するスキルを習得。現在7名がフェアトレード生産者として働き、月2,000ペソ（約5,000円／米50キロ相当）の安定収入を得ています。「夫の稼ぎと合わせることで、子どもを学校に通わせられるようになった」といった声が届いています。

▼スキルへの誇りと自信

日本のお客さまから高く評価いただけてきたことで、生産者は自分のスキルに誇りを持てるようになりました。また、自ら稼げるようになったことで、「家計の重要な話し合いで自分も意見を言えるようになった」と話す女性もいます。

▼詳細はP7に

3 日本の若者に 成長の場を



年**200人**以上の若者が参加！

▼オンライン・スタディツアーに212人

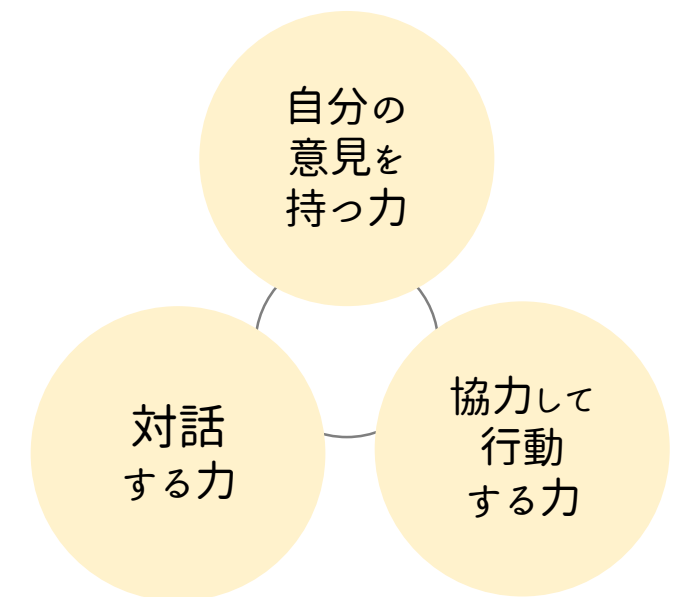
コロナ禍で現地に行くことが叶わない中、バーチャルで都市スラムを訪れたり、「貧困の中で生きる人の本音」を聞けるプログラムを開発。バーチャルツアーやライフストーリーを通じてリアルな現状を知った上で、貧困が生まれる構造や自分にできるアクションについて意見交換しました。

▼各国から参加の多国籍インターンシップ

貧困の現状を知るだけでなく、変化を起こすために行動したいという若者を対象に、オンライン・インターンシップも実施。ネパール出身の留学生やフィリピン在住の中学生を含む、多様なメンバー18名が参加し、フィリピンの子どもたちや女性を応援するプロジェクトを企画・運営しました。

▼詳細はP8に

アクセスが考える
「生きる力・変える力」



- ✓ 安心してすごせ、本音で語り合える場や関係性をつくることで、自分たちの手で問題を乗り越えていける力を伸ばします。
- ✓ 支援する側・される側を固定せず、つながりと協働のなかで、互いの力を伸ばし合う関係を大切にします。



子どもに教育を

アクセスの子どもプログラム

貧困家庭の子どもが
小中高校を卒業できるように、
 また**子どもの権利**が侵害されることなく
 安心してのびのびと成長できるように、
日本のサポーターさんと一緒に
支援する、教育里親制度です。

継続して成長を見守れる、一対一のサポート



- ✓ 子どもサポーターの方からのご支援で、フィリピンの子ども一人が一年間、学校へ
- ✓ 日本にいるサポーターさんの存在が、学び続ける上での励みに

本プログラムの支援で455人が小学校を卒業！

プログラムの3つの柱

1 就学サポート
 通学に欠かせない制服・カバン・文房具などを現物で支給。学校に支払う諸費の一部を現金で支給しています。

2 子どもの権利を守る
 奨学生には子どもの権利を学ぶワークショップを、保護者や地域の大人には、子どもの権利を尊重した子育てや指導の仕方を学ぶセミナーを開催し、子どもたちが安心して成長できる環境を整えています。

3 生きる力を育む
 土曜日や夏休みに「生きる力を育む補習授業」を実施。子どもたちが自分の気持ちを認識する力を高め、辛い時は大人にSOSを出す力や、困った時に話し合ったり助け合ったりする力を伸ばしています。

見に来てください！
 動画や記事



YouTube 上で、
 「アクセス事務局」と検索！



活動の現場をディープに！
 読み応えありの
 コラム

2021年度は

290人の 学びをサポート！

47人が小学校を卒業

都市スラム 小学生60人
 農漁村 小学生200人／中学生30人

【都市スラム】
 マニラ市
 トンド地区

【農漁村】
 アラバット島
 ペレーズ地区

アクセスの
 2つの事業地

コロナ禍の影響 フィリピン特有のストレス

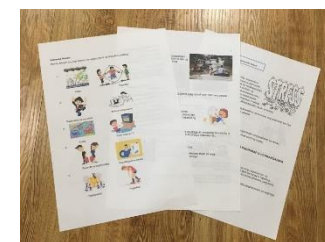
2020年3月以来、フィリピンでは子どもたちの外出が厳しく制限され、全学校で対面授業が停止。2021年11月頃ようやく、部分的に対面授業が再開されました。アクセスが活動する2つの事業地の子どもたちは、学校から配布されたプリント教材を使って自宅勉強する期間が2年も続きました。
 小さな住まいにたくさんの子どもと暮らすフィリピンの貧困家庭にとって、外出できないことのストレスは、非常に大きなものでした。



2021年度の活動カレンダー

	2021年						2022年					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
学校		卒業式／夏休み										
アクセス	奨学生募集	学用品配布					クリスマスパーティー					
												夏補習

コロナ禍のストレスに対処する。 「生きる力を伸ばす」プリント教材



子どもの権利や、生きる力を伸ばすオリジナル教材を開発。困難に直面しても、頼ったり助け合ったりして乗り越えていく力を育てています。



何度声をかけても子どもが学校の教材プリントに取り組みない時は、本当にイライラ。夫の稼ぎが減ったこともあり、不安とストレスで、つつい口調がキツくなっていたのですが…。
 アクセスから配布された「適切なコミュニケーション」と「ストレスへの対処法」を学ぶ教材の中身を実践したことで、家族間の会話が改善。
 少しずつ感情のコントロールができる場面が増え、言い合いが減り、ストレスが緩和されました。

フィリピンから届いた声



農漁村在住の奨学生
 アヴリルさん

小学校を卒業しました！

サポーターさんが私の誕生日をお祝いしてくれたことは決して忘れません。同封されていた写真を何度も見返しています。父はバイクの組み立ての仕事を、母は私やきょうだいの世話をしています。この一年は、パンデミックの影響で学校に行けず、先生が持ってきてくれたプリントを家で取り組んでいました。



アクセス・フィリピン
 都市スラム担当
 ジェリック・ララ

NGOの本当の役割とは

NGOとは、お金や物を提供してくれる存在だ、と考える人が少なくありません。でも、それは誤解です。僕らの本当の役割は、貧困の中で生きる人々自身が自らの手で現状を変えていけるようにすること。人々の中にある力を引き出し、背中を押すことです。

本プログラムは2020年度、子ども教育サポーターの皆さまからのサポーター費および2つの助成金（連合 愛の基金／風に立つライオン基金）によって実施しました。

女性に仕事を

フェアトレード
事業



アクセスの フェアトレード事業

働きたくても仕事のない女性や若者に、
雑貨生産の仕事を届け、生産された品物を
フェアトレード商品として販売。
安定した収入が得られるようにするとともに、
生産者グループとして協働する力の向上に
つなげています。

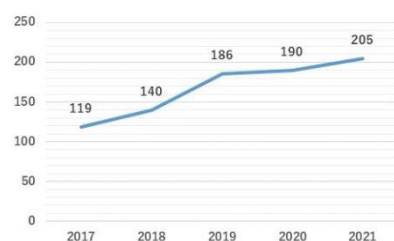
作る人・買う人・贈られる人
みんながHAPPYになれるのがフェアトレード



2021年度の売上は

206万円
と、過去最大に

2017年以降の売上の伸びグラフ



オンライン
ショップ



実店舗でのお取り扱い状況は、季節によって変わります。お近くのショップをお探しの際は、お問い合わせください。

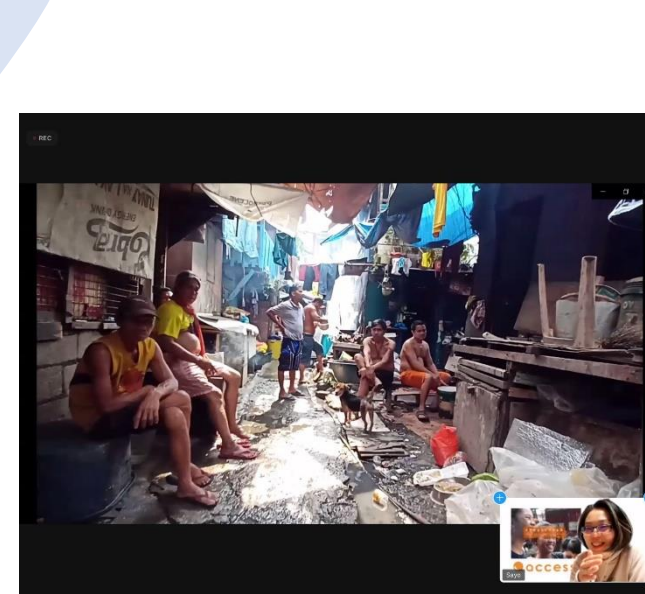
テレビで紹介
されました！

朝日放送のCASTによる
アクセスのフェアトレード特集。こちらから
ご覧いただけます。

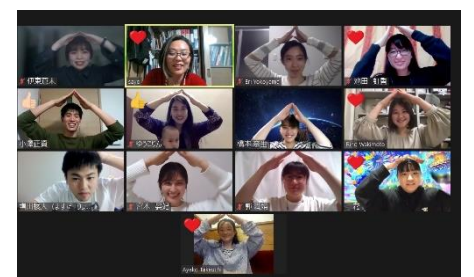


▼生産点数
グリーティングカード 4,200点
ココナッツ殻雑貨 1,126点
▼販売点数
グリーティングカード 5,589点
ココナッツ殻雑貨 543点

日本の若者に 成長の場を



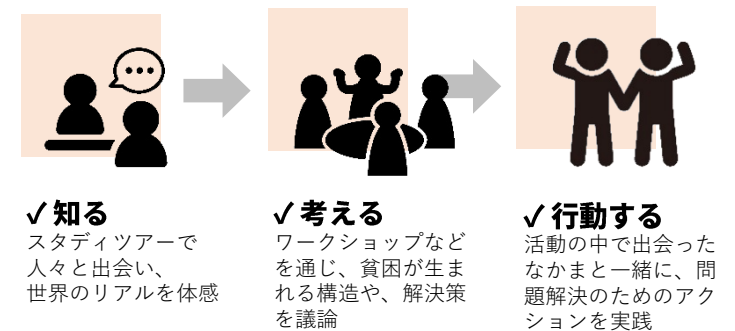
スタディツアー | インターンシップ | ボランティア



日本の若者の 「変える力」を伸ばす

フィリピンの人々の暮らしや想いにふれる
と、世界中の貧困や人権侵害が、他人事とは思えな
くなります。「かわいそうだから助けてあげた
い」を越えて、貧困を生み出している構造に目を向
けていながら、同じ想いを持った人と協力して、で
きることから行動にうつっていく。そんな「変える
力」を伸ばせる活動の場をつくっています。

世界を変える、3ステップ



2021年度は

知る 212人が
フィリピンを体感



オンラインスタディツアー

オンラインでフィリピンの都市スラムや農漁
村をバーチャル訪問。フィリピンの人々との
リアルタイム交流を通して、貧困の現実や、
フィリピンの人々の魅力を体感しました。

*連携団体
京都市教育委員会／龍谷大学／立命館大学／立命館高校
立命館宇治高校／お茶の水女子大学 など

考える

「物乞いされたらどうするか」ワークショップ

答えのない問いについて語り合うことで、自分の意見をもつこと、
互いに意見を聴きあうこと、対話や議論を通して自分の考えを更新
していくことの大切さを実感する濃い時間に。

参加者：35名 場所：オンライン 運営：第3期インターン13名

行動
する

18名の若者たちの模索・挑戦 オンライン・インターンシップで課題解決

週1ミーティングをすべてオンラインで行う、コロナ禍ならではの
インターンシップ。日本・中国・ネパール国籍の中学生～大学院生
が参加。多様なバックグラウンドを持ったメンバーが、それぞれの
目線で率直に意見を出し合うことで、フィリピンの貧困問題の解決
につながるプロジェクトを成功させました。

第3期：13名 「オンラインプログラムの開発」
第4期：5名 「マンスリー・サポーター募集」

インターンの声を動画で>>>



ボランティアが 1,100通以上を翻訳

フィリピンの子どもたちや保護者から届く
メッセージの翻訳は、全国各地の翻訳ボラ
ンティアさんが日本語訳してくださいました！

社会人GETが教材開発

GET(Global Education Team) メン
バー3名は、フィリピンの暮らしを楽
しくリアルに体感できるボードゲーム
教材を開発。体験会も何度か開催しま
した。

一緒に歩んでくださった皆さま

アクセスが貧困や人権侵害をなくす活動を継続できているのは、共感し、応援して下さっている皆さまのおかげです。一緒に歩んで下さっている方々の一部をご紹介します。



佐藤由実子さん
サポーター

私の英会話の先生はフィリピンの方でした。ポジティブで元気でユーモアに溢れ、気づけばフィリピンのファンに。偶然SNSで見つけたアクセスの「ここが好きだよフィリピン」オンライン交流会。ネーミングについ惹かれて参加したことが、アクセスとの出会いでした。フィリピンの光と影の両サイドについて、もう少し深く知りたいと思っています。



今町駿介さん
サポーター／ボランティア

大学生の時、アクセスのスタディツアーでペレーズという農村地区を訪れました。そこで一緒に走り回って遊んだ子どもたちや、苦勞している話を聞かせてくれた人たちと今も繋がりがあればいいなと思って、寄付やフェアトレードカード検品で携わっています。検品では昔から知っているメンバーや面白い大学生たちと話せるのでいつも楽しいです！



正会員



サポーター



ボランティア



インターン



ご寄付

資金
本・CD・DVD・ゲーム
書き損じはがき
133件
47件
33件／1,660枚



薬院オーガニック株式会社



DragonBlood株式会社



ブランシェス株式会社



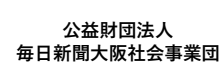
公益財団法人
風に立つライオン基金



日本労働組合総連合会



株式会社ココウェル



公益財団法人
毎日新聞大阪社会事業団



一般財団法人H₂Oサンタ



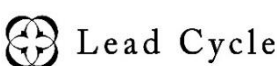
ブックオフコーポレーション株式会社



環境創研株式会社
環境創研株式会社



株式会社ツバキ薬粧



Lead Cycle 株式会社

今西良孝様

西川裕也様

上田曜子様

永田絵里子様

*個人のお名前は、アクセス存続寄付キャンペーン時に、活動報告書へのお名前掲載がリターンとなるご寄付を下された方を中心に掲載しています。



ロゴに込めた想い

ふきだしの形は、「みんなで話し合うことを通じて活動を創っていく」というアクセスのスタイルを表現しています。「活動を通じて支え合う関係をつくり、その中で笑顔ふやしていきたい」という思を込めて、ふきだしがニッコリ笑っているようなデザインになりました。

2021年度 活動計算書

2021年4月1日～
2022年3月31日

収入の部	金額(円)
サポーター費・会費	8,269,000
寄付金	3,892,508
助成金	1,573,254
フェアトレード事業	2,063,233
スタディツアー事業	1,388,005
講師派遣事業収入	400,815
その他	1,202
合計	17,588,017
支出の部	金額(円)
海外事業費	8,731,449
フェアトレード売上原価	665,693
国内事業費	6,465,103
管理費	3,243,165
合計	19,105,410
当期経常増減額	△1,517,393
経常外費用	15,000
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	△1,602,393
前期繰越正味財産額	8,892,088
次期繰越正味財産額	7,289,695

サポーター費・会費
2022年2～3月に実施した「生きる力にアクセス」キャンペーンにより、活動と一緒に進めてくださるサポーターの人数が過去最高となりました。

助成金
歌手さだまさしさんが設立した「風に立つライオン基金」および「連合」からの助成をいただき、農漁村ペレーズで、子どもの権利と生きる力に関する事業を実施することができました。

フェアトレード
フィリピンで手作りした雑貨の販売額が、過去最大となりました。

スタディツアー
コロナによる規制により現地訪問はでならず。代わりに、オンライン・スタディツアーを11回開催しました。

国内事業費
世界の貧困問題や人権侵害に関心を持つ若者を主な対象に、講演・ワークショップを開催したり、インターンの受け入れを行いました。

* 詳細な会計報告（活動計算書、貸借対照表、監査報告書、財務諸表の注記については、ウェブサイト上で掲載しています。



<https://access-jp.org/about#co-index-0>

組織概要

認定NPO法人
アクセスー共生社会をめざす地球市民の会 (2022年9月時点)

所在地 612-0029
京都市伏見区深草西浦町8-85-4

設立 1988年10月1日

法人格取得 2000年2月7日

認定取得 2016年8月10日

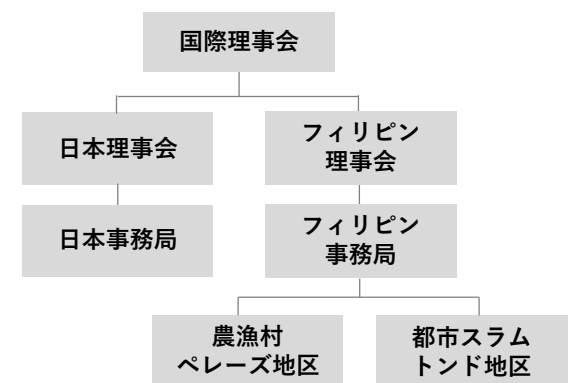
理事長 新開 純也

常務理事 森脇 祐一

理事 位田 浩／河西 実／片岡 卓三
倉辻 悠平／崎山 政毅／白坂 有子
杉山 遼／田中 雅規／西村 知晃
野田 沙良／廣瀬 昌代／松本 祐子

監事 藤野 正弘

日本事務局 森脇 祐一／野田 沙良／竹内 彩帆
中村 智子／園田 未帆／原子 真弓



日本とフィリピンの
スタッフをHPで紹介しています！
<https://access-jp.org/about/staff>

ご支援のお願い



生きる力、変える力にアクセス

学びたい、働きたい、貧困をなくしたい。
そんな願いを持った子どもたち、女性、若者たちの
力を伸ばすアクセスの活動は、みなさまからのご寄付に支えられています。一
人ひとりがもつ「生きる力・変える力」を引き出していく活動への
ご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いします。

- 月1,000円×1年間で、貧困地区に暮らす子ども9人に文房具セットを届けられます。
- 月5,000円×1年間で、フェアトレード事業を支える現地スタッフ2人の1か月分の給与になります。
- 月15,000円×1年間で、400人の子ども・保護者に、「生きる力を伸ばすプリント教材」6回分を届けられます。

マンスリー
サポーター
募集中！



ご寄付の40%が控除に

月1,000円のご寄付を1年間すると、
最大約5,000円の控除が受けられます。

アクセスは京都市から認定を受けた「認定NPO法人」です。
認定NPO法人へのご寄付は、税控除の対象となります。